

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

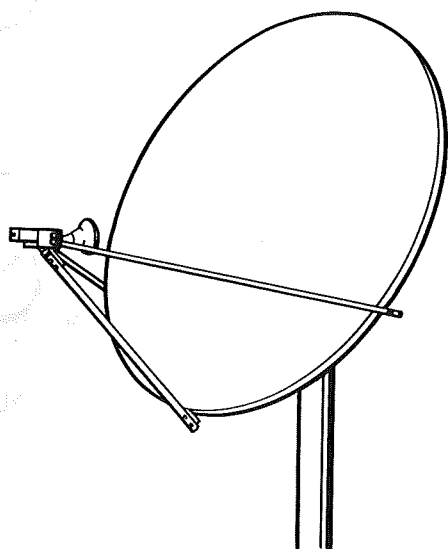
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



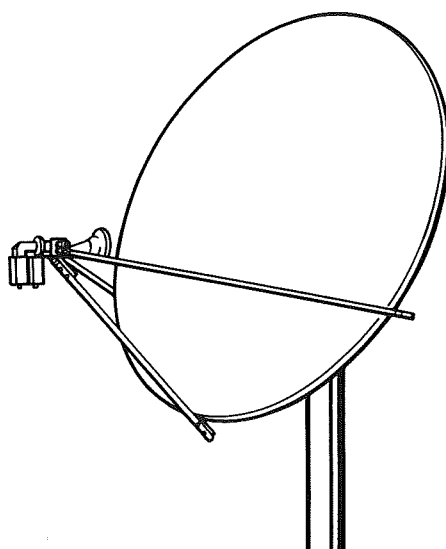
DIGITAL

120形CSアンテナ

CSA-120



片偏波給電部仕様



両偏波給電部仕様

(注) 給電部とマウントは別売です。
この取扱説明書は、マウントDSA-342 (別売) を含めて説明しています。

製品の特長

- 給電部やそのアームが小さい電波の陰を作らず、ひととき優れた効率を発揮するオフセット形を採用しています。
- 給電部 (別売品) に極めて低雑音のCSコンバータ (別売品) を一体化し、鮮明な映像を再現します。
- ひととき高いアンテナ利得が得られる大口径 (短径120cm) パラボラ反射鏡は、内部に高効率特殊カーボン束樹脂製の「トレカ」の反射層をもつ強化樹脂製で、変形の心配がなく軽量です。
- 独自の無段階微調整機構の採用で、仰角、方位角の調整がスムーズに行えます。
- 細部にわたる合理化設計で、組み立てが簡単です。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。



- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。



- 万一、このアンテナを落としたり、アンテナコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままですと破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナの表面にシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。





警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。
- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。
- アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。けがの原因となります。
- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。火災や感電の原因となります。
- アンテナコンバータは表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたりして、けがの原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- CSアンテナは、強風の影響を受けやすいので、アンテナの取り付けには、マスト、ポールおよび取付金具類はアンテナ径により指定された十分強度のあるものを使用し、堅固に設置してください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取り付けてください。



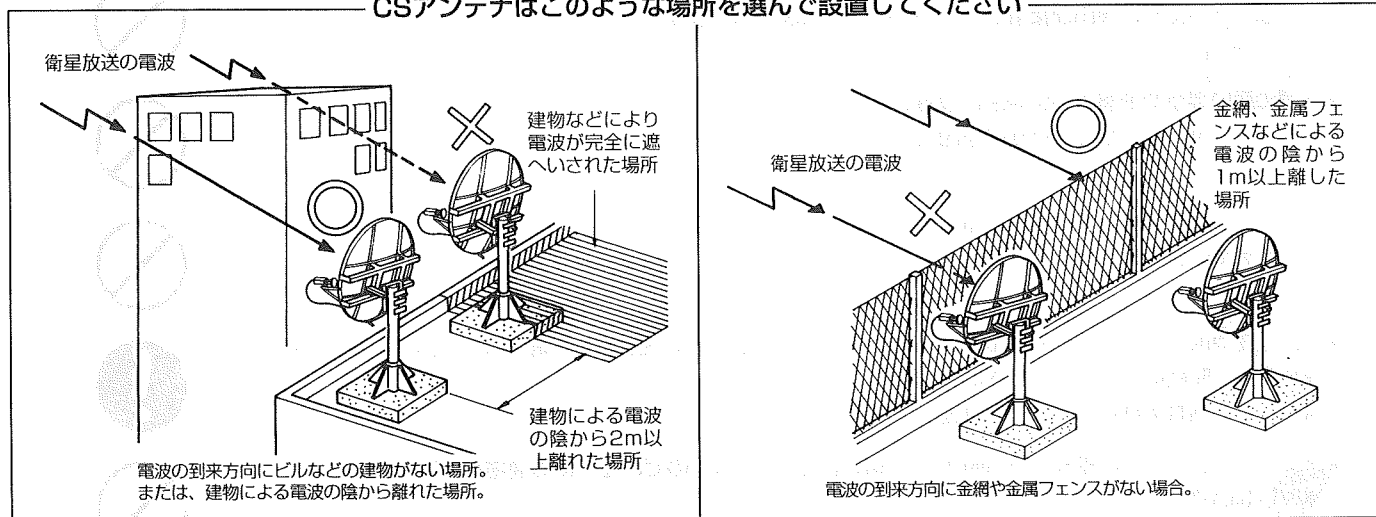
お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- CSチューナは、CSデジタル放送対応のCSチューナを使用してください。
- CSアンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- CSコンバータは、絶対に分解したりお客様自身での修理や改造をしないでください。分解や改造などによる防水性や性能維持の保証はできません。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは絶対に回さないでください。
- 地上や屋上などに設置する場合、人の通行の妨げにならない場所を選び、転倒しないよう強固に設置してください。
- CSコンバータへの接続は、必ず衛星放送対応のケーブルをご使用ください。
- CSコンバータ用電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行なってください。

CSアンテナの設置場所の選び方

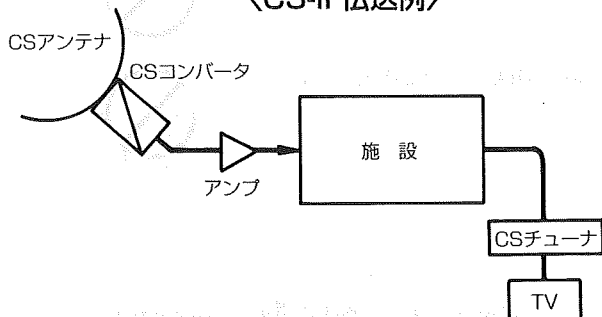
- ① CSアンテナは、設置する地域によって仰角、方位角、偏波角が異なります。
- ② 受信方向（仰角、方位角）に、山やビルなど障害物があると受信できません。また、受信方向の極めて近くに障害物がある場合でも受信できないことがありますので、障害物による電波の陰から離れた場所に設置してください。
- ③ 樹木は葉や枝の密集度によって受信レベルに大きく影響します。樹木の生長も考慮して陰にならない場所に設置してください。
- ④ 金網や金属フェンスは受信レベルに大きく影響します。陰にならないよう1m以上離して設置してください。
- ⑤ 住宅地における線条数も少なく細かい電線の場合はあまり影響がありませんが、太い線が密集している送電線や鉄塔の場合は受信レベルに影響することがあります。陰にならない場所を選んで設置してください。
- ⑥ 電車や自動車の往来に近いところは、受信に影響することがあります。できるだけ離れた場所を選んで設置してください。
- ⑦ 設置場所が高所の場合は強風を受けやすくなりますので、できるだけ風が吹き抜けられないような場所を選んで設置してください。

CSアンテナはこのような場所を選んで設置してください



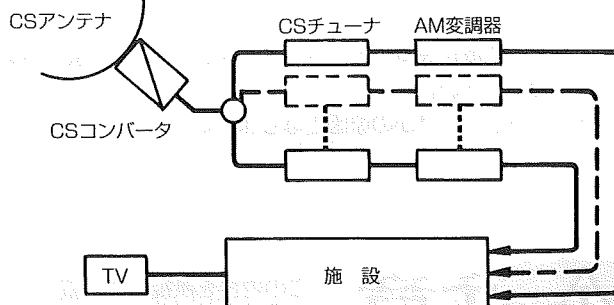
受信システム例

〈CS-IF伝送例〉



このシステムは、比較的小規模な施設向けのシステムで、高品質の画像・音声を伝送でき、またHDTV・データ通信などへの対応も可能です。しかし、各受信端末ごとにCSチューナが必要となります。

〈VHFまたはUHF-AM伝送例〉



このシステムでは、小規模の施設から比較的大規模の施設まで対応でき、また受信端末にCSチューナを設置する必要もありません。しかし、画像・音声などの品質は地上放送並で、HDTV・データ通信などへの対応は不可能であり、チャンネル増加ごとに、CSチューナ・AM変調器などを増設する必要があります。

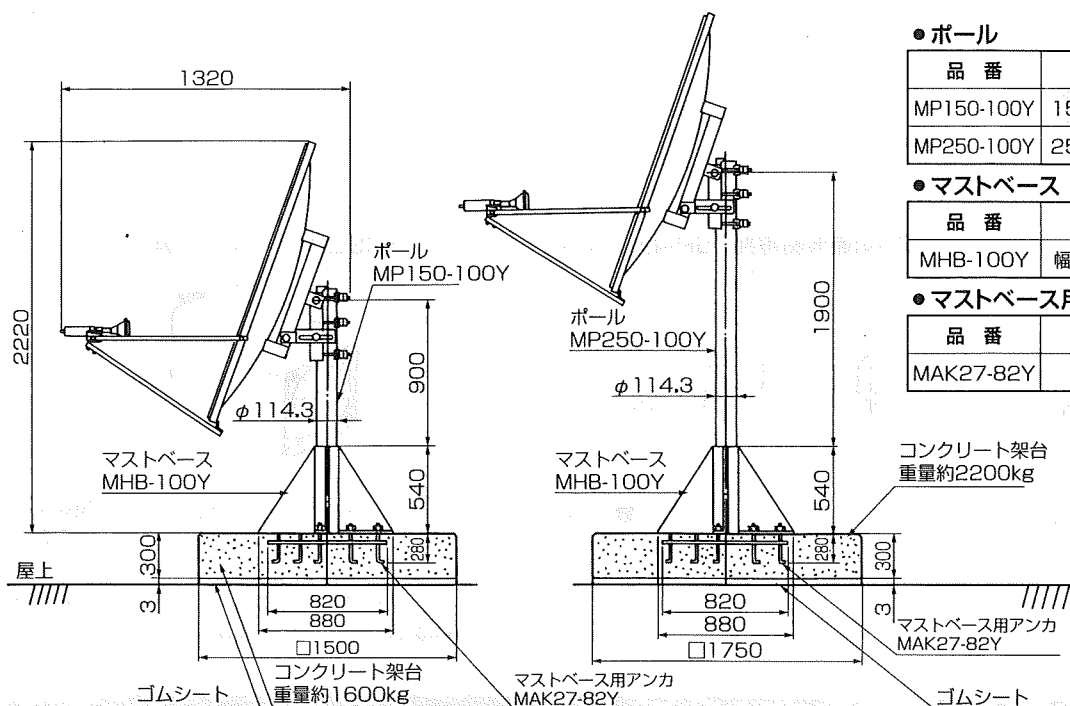
これらのシステム例の他にも様々な方法が考えられますが、いずれの場合でもよりよい受信品質を確保するために、必ずCSアンテナを強固に設置してください。

マストベースの建て方（120形CSアンテナ用マストベースの設置のご説明）

- 120形CSアンテナは、従来のアンテナに比べてその構造が風圧を受けやすい形状になっており、なおかつ大口徑（短径120cmの楕円形）のため、CSアンテナを取り付けるマストベースは、台風や季節風などの強風に留意し、安全性と安定性に十分注意して強固に設置してください。

〈設置例〉

- (注) ● 図は仰角40° のときの寸法です。
● 図は片偏波給電部仕様のものですが、両偏波給電部仕様も寸法などほぼ同じです。



● ボール

品 番	寸 法 (mm)	質量 (kg)
MP150-100Y	1500 × φ114.3 × t3.2	14.8
MP250-100Y	2500 × φ114.3 × t4.5	28.9

● マストベース

品 番	寸 法 (mm)	質量 (kg)
MHB-100Y	幅880×長さ880×高さ540	22

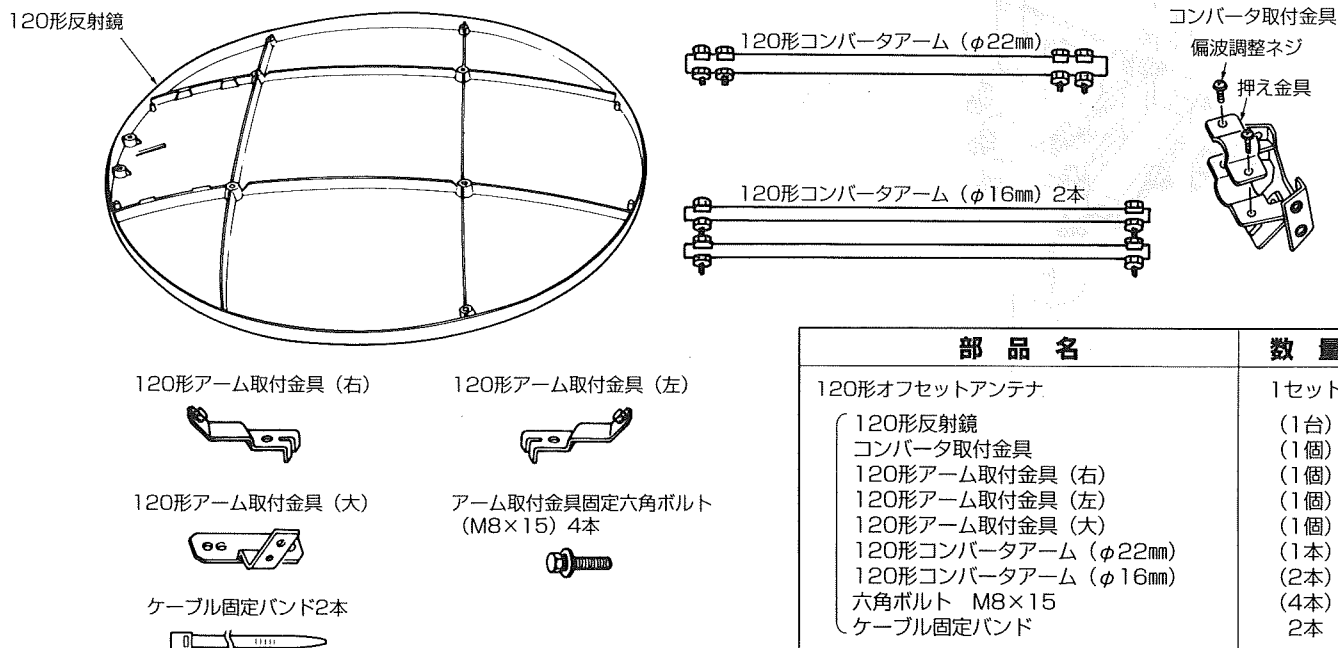
● マストベース用アンカ

品 番	寸 法 (mm)	質量 (kg)
MAK27-82Y	深さ280×幅820	6.7

- マストは地面に対して垂直に建ててください。
- アンテナの取り付けは、マストのコンクリート基礎が十分固まった後に行なってください。
- 地上形マスト用アンカを使用しないで、マストを地中に埋める場合は、基礎部にコンクリート根巻などの補強を施してください。
- 屋上設置では地上より風圧荷重がさらに増大しますので、設置場所には十分な強風に対する配慮をしてください。
- 既設の建物の場合、屋上にゴムシートなどを介してコンクリート基礎を設置してください。
- 新築の建物の場合、マストベース用アンカを鉄筋などに溶接しますと、さらに、強固な設置ができます。

各部の名称

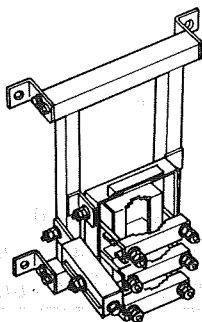
〈120形オフセットアンテナ・CSA-120〉



部 品 名	数 量
120形オフセットアンテナ	1セット
120形反射鏡	(1台)
コンバータ取付金具	(1個)
120形アーム取付金具 (右)	(1個)
120形アーム取付金具 (左)	(1個)
120形アーム取付金具 (大)	(1個)
120形コンバータアーム (φ22mm)	(1本)
120形コンバータアーム (φ16mm)	(2本)
六角ボルト M8×15	(4本)
ケーブル固定バンド	2本

構成（この製品は下表の組合せでご利用ください。）

〈120形固定マウントDSA-342〉（別売）

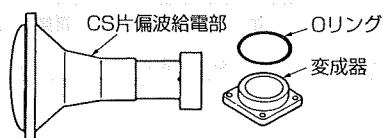


オフセットアンテナ取付用ボルト
(M12×20) ・ スプリングワッシャ 4セット



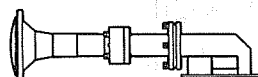
部 品 名	数 量
120形固定マウントDSA-342	1セット
〔 120形固定マウント 六角ボルト M12×20 スプリングワッシャ (12mm) 〕	(1台) (4本) (4個)

〈CS片偏波給電部CSP-3〉（別売）



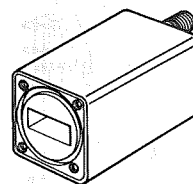
	数 量
CS片偏波給電部	1 台

〈CS両偏波給電部CSP-4〉（別売）



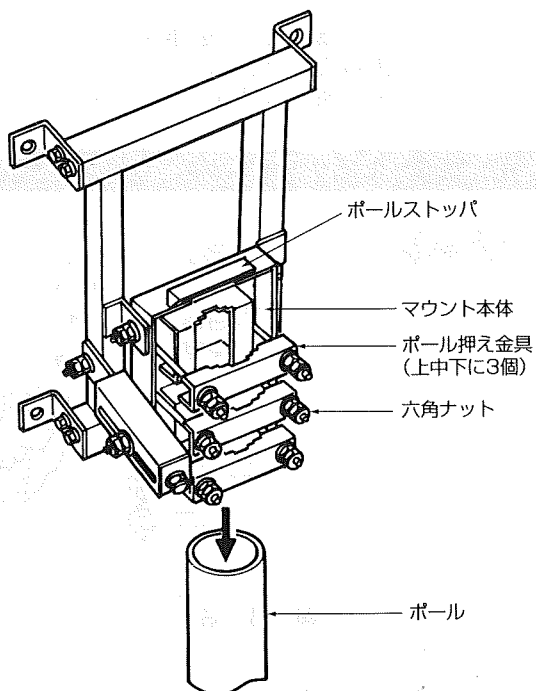
	数 量
CS両偏波給電部	1 台

〈CSコンバータ・一例〉



システムに合ったDXアンテナ製のCSコンバータをご利用ください。なお、CSコンバータの仕様については、お買い上げの販売店もしくはDXアンテナ製品取扱店にご相談ください。

マウント部のポールへの取付け

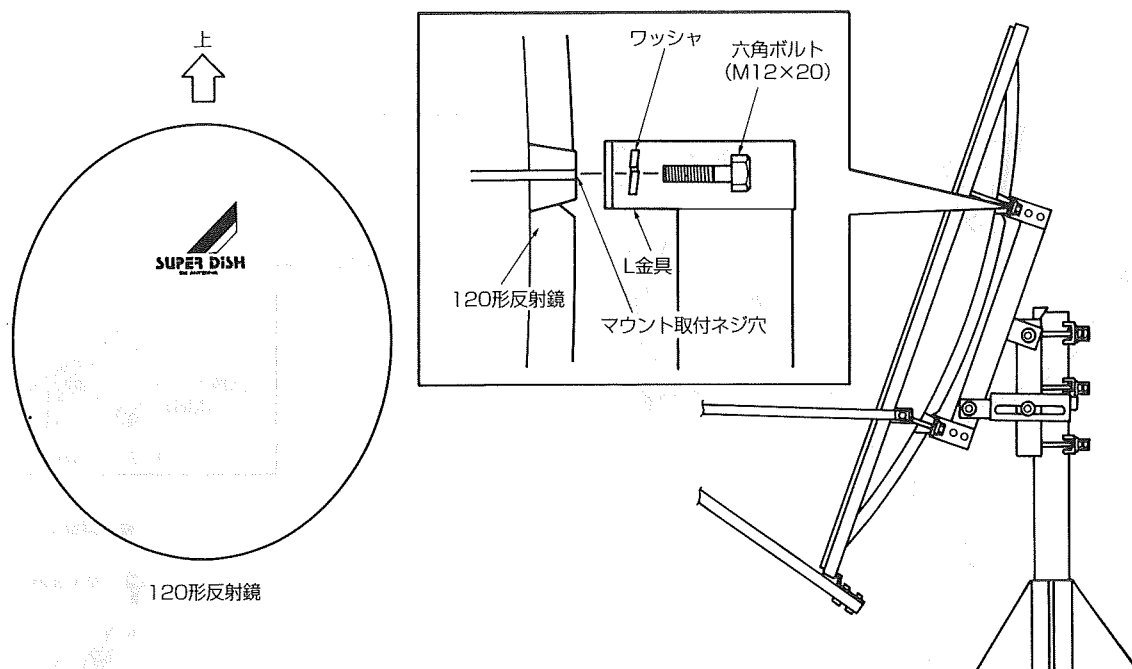


①ポール押え金具（上中下3個）とマウント本体の間にポールが入るよう六角ナット（M12）を十分緩めてください。

②ポールストップパがポールの先端に当たるまで120形固定マウントをポールに差し込み、六角ナット（M12）を左右均等に締めて仮止めしてください。

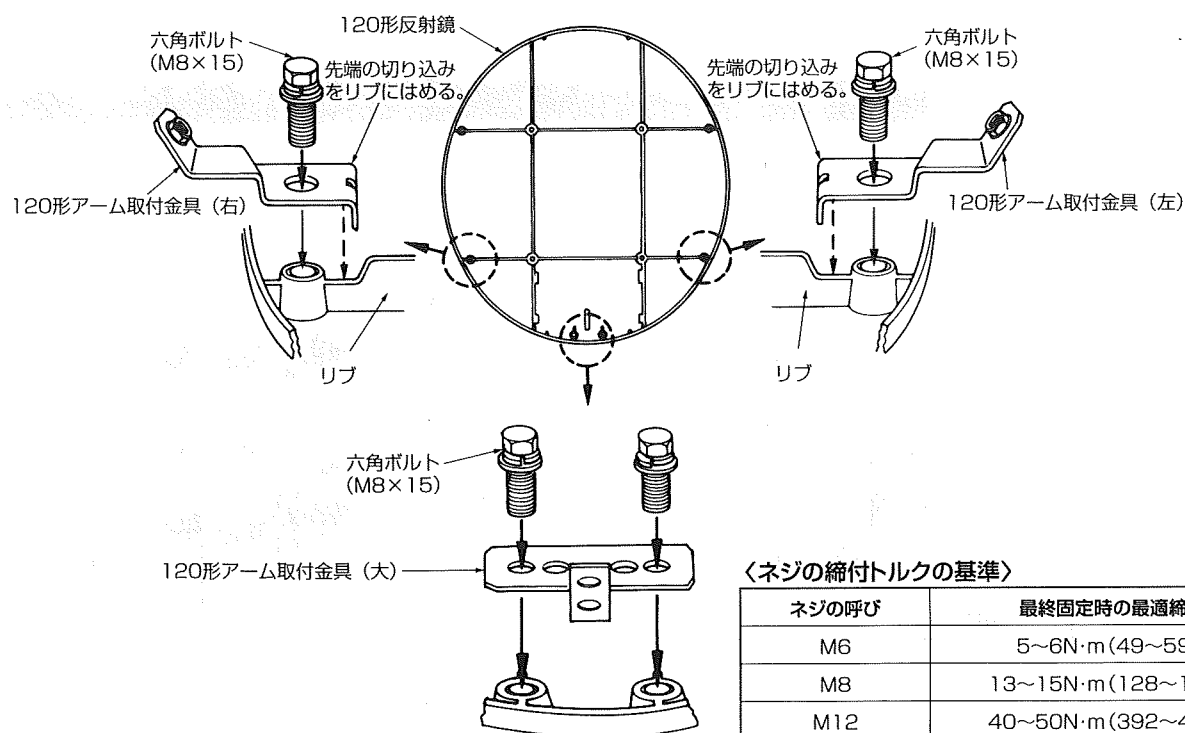
※ポールが垂直に立っていることを確かめた後に、マウント部を取り付けてください。

マウント部の取付け



- ①120形固定マウントと、120形反射鏡の上下に注意し、反射鏡とマウントの取付穴が合うようにして取り付けてください。
- ②反射鏡の上下は、表面の意匠で確認してください。
- ③付属の4本の六角ボルト、(M12×20)とスプリングワッシャ(12mm)を反射鏡取付金具のL金具の穴を通して、反射鏡のマウント取付ネジ穴へ入れ、仮止めしてください。
- ④仮止めした順序に、4か所を強固に締め付けてください。(6ページのネジ締付トルクの基準を参照)

アーム取付金具の取付け

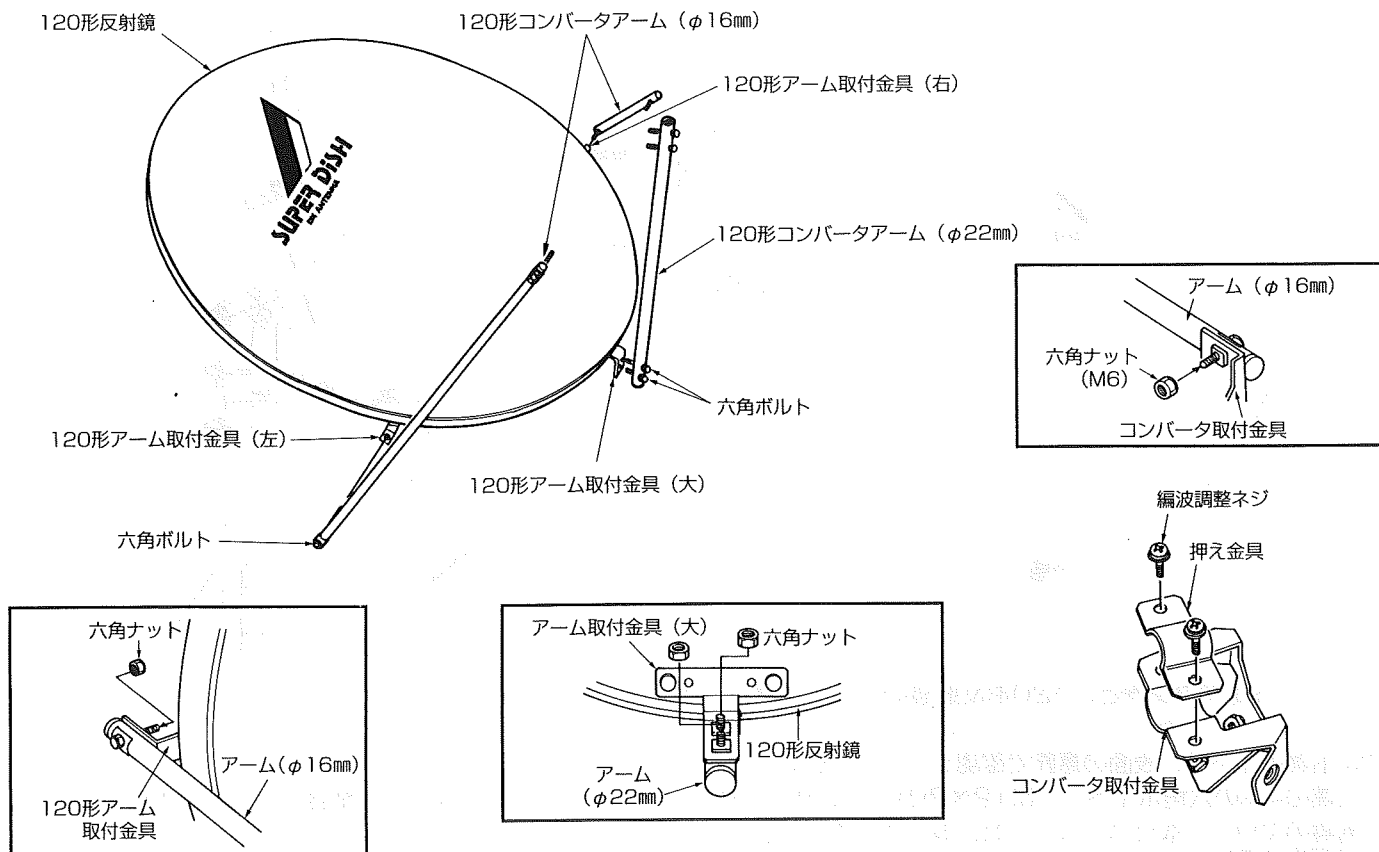


〈ネジの締付トルクの基準〉

ネジの呼び	最終固定時の最適締付トルク
M6	5~6N・m (49~59kgf・cm)
M8	13~15N・m (128~147kgf・cm)
M12	40~50N・m (392~490kgf・cm)
M16	130~140N・m (1274~1372gf・cm)

- 付属の120形アーム取付金具(右)および(左)と、120形アーム取付金具(大)を図のように、付属の六角ボルト(M8×15)で強固に取り付けてください。
- 120形アーム取付金具(右)および(左)は、左右逆に取り付けないように注意してください。

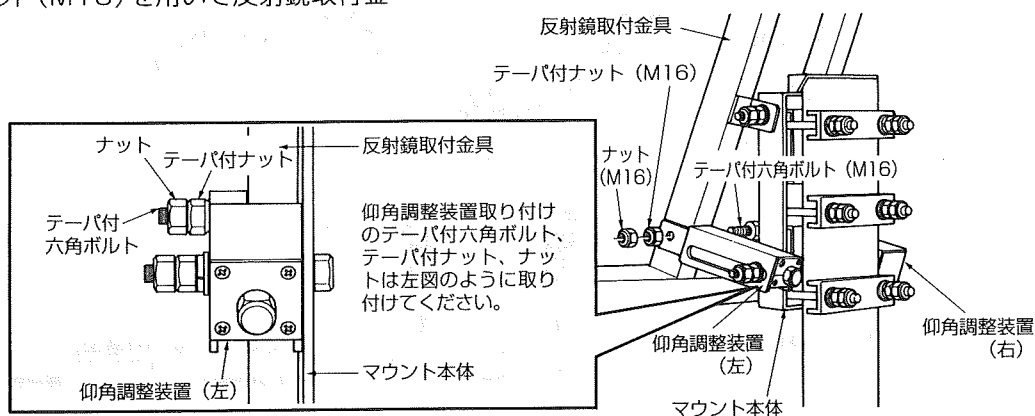
コンバータアームとコンバータ取付金具の取付け



- ① 120形コンバータアーム (φ22mm) を、120形反射鏡に取り付けた120形アーム取付金具 (大) に、アームの先端についている2本の六角ボルト (M6) で締め付けてください。
- ② 120形コンバータアーム (φ16mm) 2本を、それぞれ120形反射鏡に取り付けた120形アーム取付金具 (右) および (左) に、アームの先端についている六角ボルト (M6) で締め付け、仮止めしてください。

仰角調整装置の取付け

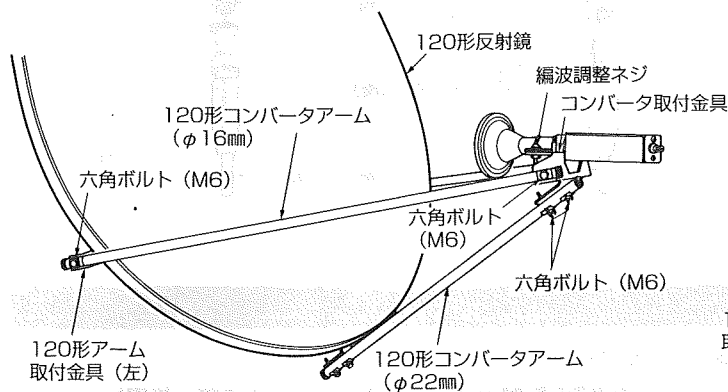
- 図のようにマウント本体に取り付けられている仰角調整装置 (左) および (右) を反射鏡取付金具に仮止めしていたボルト (M16) ・ナット (M16) を用いて反射鏡取付金具に取り付けます。



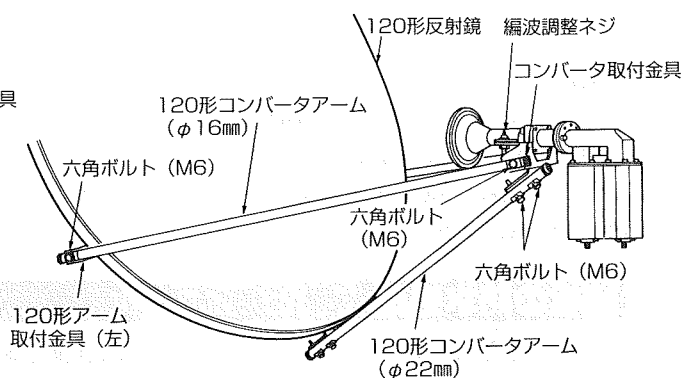
CS給電部の取付けおよび偏波の設定

- アンテナ部に付属のコンバータ取付金具の押え金具を一度取りはずし、下図のように給電部に取り付けてコンバータアーム(φ16mm)およびコンバータアーム(φ22mm)についている六角ボルトで強固に締め付けてください。
- 120形コンバータアーム(φ16mm)の反射鏡側の120形アーム取付金具(右)および(左)の六角ボルトを強固に締め付けてください。

〈CS片偏波給電部をご使用の場合〉



〈CS両偏波給電部をご使用の場合〉



※給電部の ☒ H シールにより、偏波調整ネジを少し緩めてCSコンバータを回転させて受信偏波に合わせます。

- ・ 垂直偏波を受信する場合
☒ シールのある面を下にしてください。
- ・ 水平偏波を受信する場合
☐ H シールのある面を下にしてください。

※図のようにCSコンバータを取り付けてください。その場合、左の出力端子から水平偏波の信号が、右の出力端子から垂直偏波の信号が取り出せます。

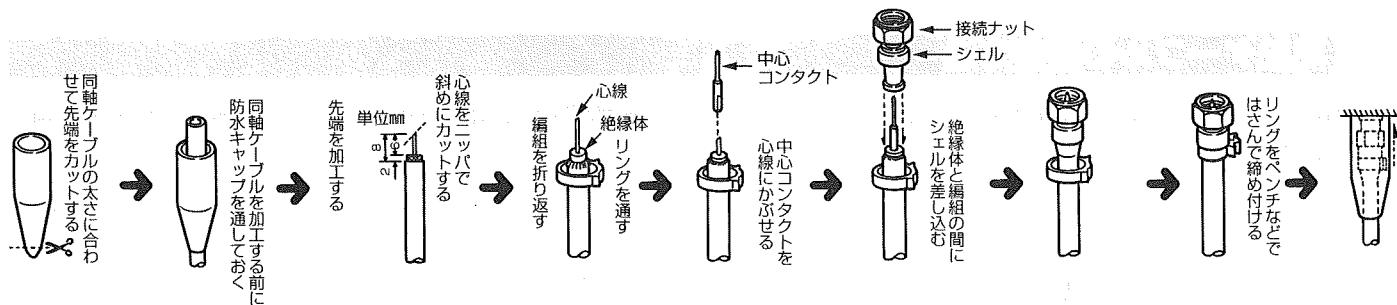
接栓への同軸ケーブルのつなぎかた

図のように別売りのCSコンバータに付属しているF形接栓に同軸ケーブルをつないでください。このとき、あらかじめ同軸ケーブルに防水キャップを通しておいてください。F形接栓は5C-FVC、S-5C-FBなどの同軸ケーブルに使用できますが、ほかの同軸ケーブルを使用される場合はその同軸ケーブルに合ったF形接栓(別売)を、この図を参考に取付けてください。

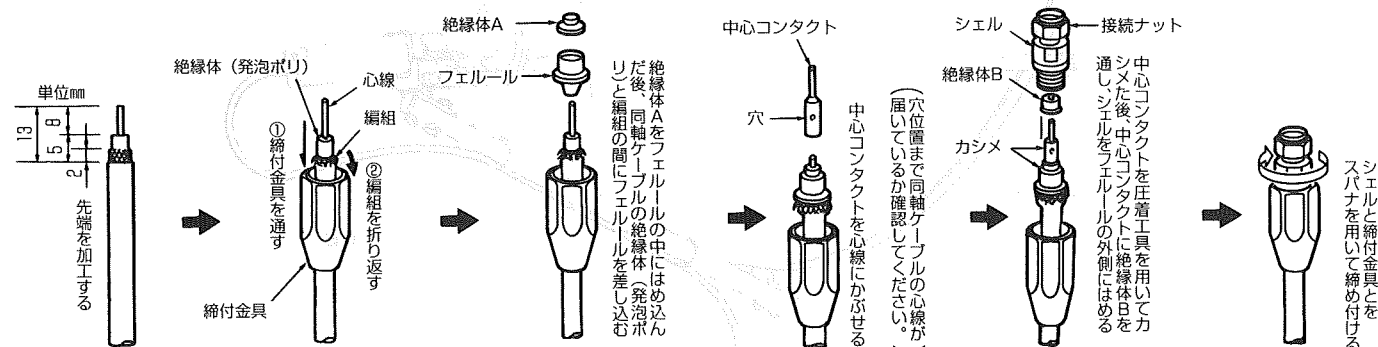
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。
- 同軸ケーブルは、CSコンバータから取り出される1GHz帯の電波を効率よく伝送するため、高品質の5C-FVS、S-5C-FBなどのご使用をおすすめします。

〈F-5SN接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法〉

(5C-FVS, S-5C-FB用)



〈防水形F形接栓F-5SCN接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法〉 (5C-FVS, S-5C-FB用)



出力端子への接栓の接続と防水処理

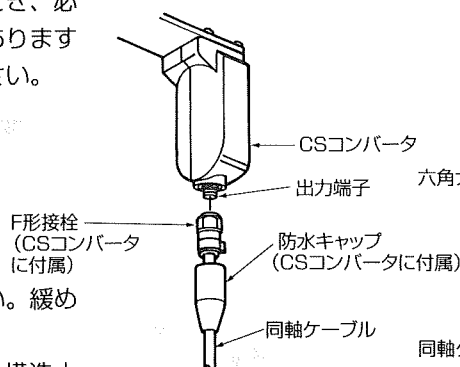
- 図のようにCSコンバータの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかりと締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので200N・cmを越えるトルクで締めないでください。

締付トルク
100~200N・cm

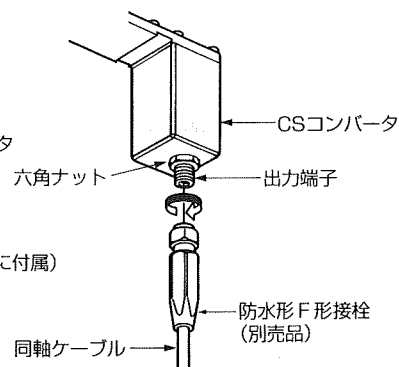
(ご注意)

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。
DXアンテナ製以外のCSコンバータを使用すると構造上取付かない場合があります。

〈F形接栓の接続〉



〈防水形F形接栓の接続〉

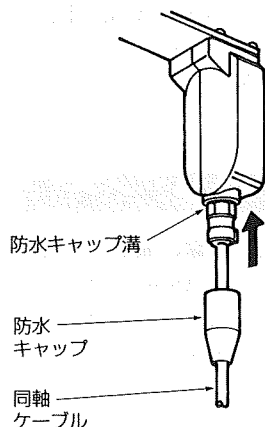


接栓の防水処理

- 出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

〈防水キャップ使用のCSコンバータの防水処理〉

同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをずらしてCSコンバータの防水キャップ溝に防水キャップを差し込んでください。

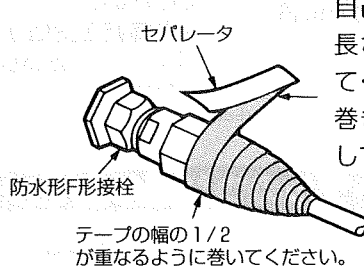


(ご注意)

防水キャップは、CSコンバータの防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。
内部に雨水など入ると故障の原因となります。

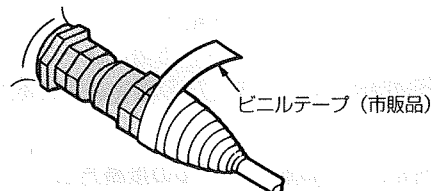
〈防水形F形接栓使用のCSコンバータの防水処理〉

- ① 自己融着テープを巻きつけます。



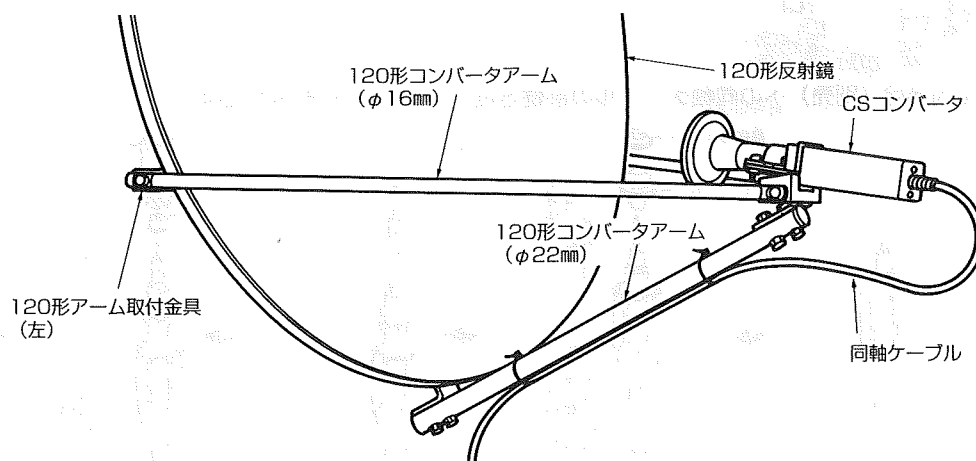
自己融着テープ（市販品）は、長さ1.5倍に引張りながら巻いてください。
巻き終わったら指でおさえて密着してください。

- ② さらにその上にビニルテープを巻きつけます。



同軸ケーブルの固定方法

- 同軸ケーブルは図のように余裕を持って引きまわし、付属のケーブル固定バンド（2本）を用いて、コンバータアーム（φ22mm）に固定してください。



CSアンテナの仰角・方位角の設定

〈仰角の設定〉

- 仰角調整装置の仰角調整用六角ボルトの頭部にスパナをかけて回転させ、別表（12ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と回転角」からアンテナ設置地区の仰角になるよう、仰角調整装置の外金具に刻印されている仰角目盛を内金具の端面に合わせて、仰角の設定を行います。
- 正確な仰角調整は次の方位角の設定後、衛星からの電波を受信して行います。

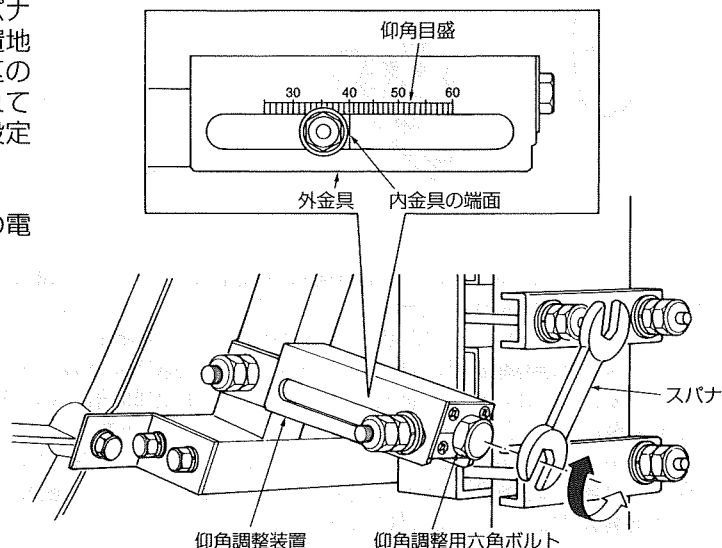


図9

〈方位角の設定〉

- ① ポール押え金具の方位角固定ボルトを緩めます。（6か所）
 - ② 別表（12ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と回転角」から、アンテナ設置場所のおよその方位角を求めてください。
 - ③ 市販の磁石などでおよその方向を確認し、反射鏡を回転させ方位角固定ボルトを締めて仮止めしてください。（ビルの屋上など磁石の近くに磁性体がある場合は、磁石が正確に働かない場合があります。この場合は磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。）
- ※最終的に、正確な仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信して行います。

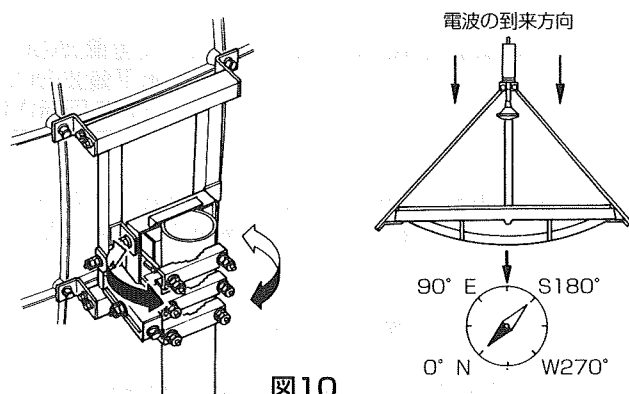
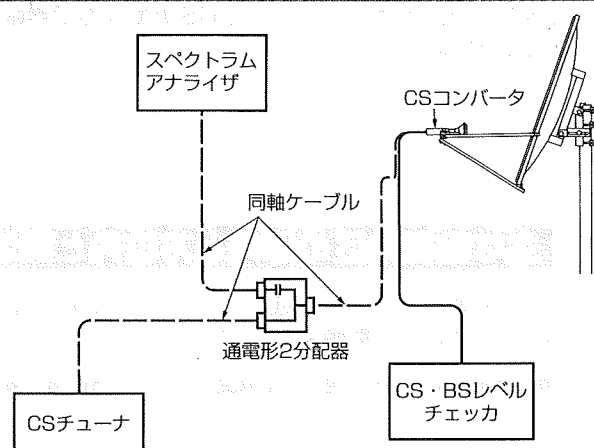


図10

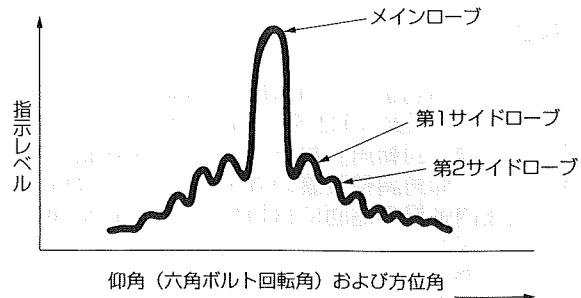
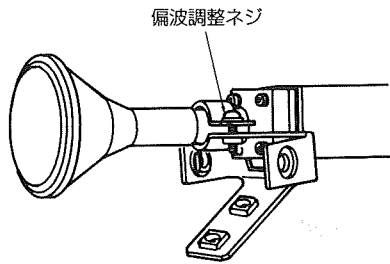
仰角、方位角、偏波角の正確な調整

CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。CSアンテナの正確な方向調整はCS・BSレベルチェッカおよびスペクトラムアナライザなどを用いる方法について説明します。

- ① CSアンテナをCS・BSレベルチェッカに接続するか、または通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザ、CSチューナなどに接続してください。
- ② CSコンバータ電源（DC15V）は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCS・BSレベルチェッカなどからCSコンバータへ供給します。



(仰角および方位角/指示レベル) 特性



- ③CSコンバータの回転により、受信偏波が受信できることを確認してください。(12ページ参照)
- ④仰角調整は、仰角調整用六角ボルトを回してスペクトラムアナライザまたはCSチェッカの指示レベルが最大になるように調整を行います。このとき、サイドローブと間違えないためにこの振れを通り越して、次の指示レベルが大きくなるところまで仰角調整用六角ボルトを回して上図のような(仰角および方位角/指示レベル)特性になっていることを確認した後、指示レベルが最大(メインローブ)の仰角に戻します。
- ⑤方位角調整についても仰角調整と同様な指示レベルが最大の方位角に調整します。
- ⑥偏波角調整ネジを緩めて、CSコンバータを少し左右に回転させ、受信レベルを最大にします。
- ⑦仰角、方位角、偏波の調整を数回くり返し、受信レベルを最大にします。
- ⑧次に交差偏波のレベルを確認します。

○CS片偏波給電部をご使用の場合→スペクトラムアナライザまたはCSチェッカのレベルを見ながら、交差偏波のチャンネルのレベルが最小になるようCSコンバータを少し左右に回転させて調整します。

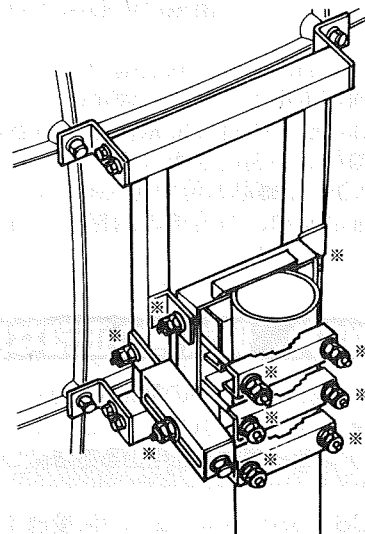
○CS両偏波給電部をご使用の場合→交差偏波のCSコンバータ(例：垂直偏波のCSコンバータで受信した場合は水平偏波のCSコンバータ)のレベルが最小となるようCSコンバータを少し左右に回転させて調整します。

- ⑨この状態で仰角・方位角を受信レベルが最小となるように調整し、受信偏波とのレベル差が25dB以上あることを確認します。

- ⑩偏波調整後、偏波調整ネジを締め付けてください。

- ⑪右図※印のボルト・ナットを全て強固に締め込み仰角・方位角を固定してください。

- ⑫偏波・仰角・方位角を固定した後、ズレのないことをスペクトラムアナライザまたはCSチェッカで再確認してください。



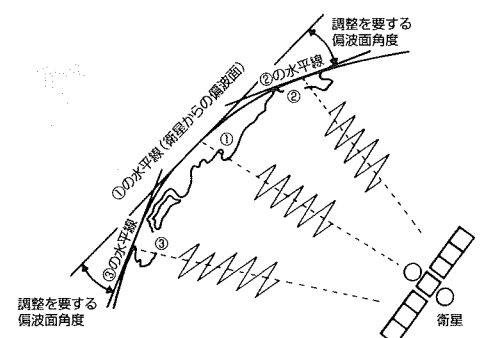
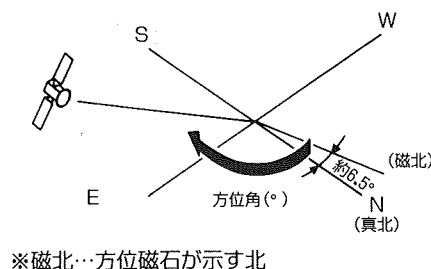
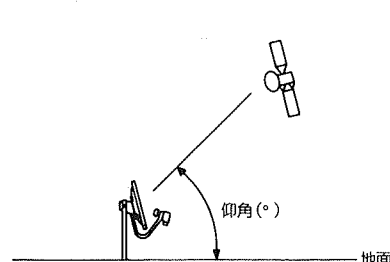
主な設置地区の仰角と方位角と偏波角

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

●仰角…受信点から衛星を見上げた角度

●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度

●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き



主な設置地区の仰角と方位角と偏波角のつづき

都 市	JCSAT-4号 東経124°			JCSAT-3号 東経128°			スーパーバードC号 東経144°			JCSAT-5号 東経150°			JCSAT-2号 東経154°			スーパーバードA号 東経158°			スーパーバードB号 東経162°		
	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角
稚 内	35	204	17	36	199	13	38	177	10	37	168	-8	36	163	18	35	158	15	34	153	11
旭 川	36	206	18	38	200	15	40	178	10	39	169	-8	38	163	18	37	158	14	36	153	11
釧 路	36	209	21	38	203	17	40	181	12	40	172	-6	39	166	20	39	160	16	37	155	12
札 幌	37	205	18	39	199	14	40	176	9	40	167	-9	39	162	17	38	156	13	36	151	9
函 館	39	204	18	40	199	14	42	175	8	41	166	-10	40	161	16	39	155	12	37	150	8
青 森	40	205	18	41	199	14	43	175	8	42	166	-11	41	160	15	40	155	11	38	149	7
盛 岡	41	206	20	42	200	15	44	176	9	43	166	-10	42	160	15	41	155	11	39	149	7
秋 田	41	204	18	42	199	14	44	174	7	43	165	-12	42	159	14	40	153	10	39	148	6
郡 山	43	206	20	45	200	16	46	174	7	45	164	-12	44	158	13	43	152	8	41	147	4
仙 台	42	206	20	44	200	16	46	175	8	45	166	-11	44	159	14	42	154	10	40	148	5
山 形	43	205	20	44	199	15	46	174	7	45	165	-12	43	159	13	42	153	9	40	147	5
福 島	43	206	20	44	200	16	46	174	7	45	165	-12	44	159	13	43	153	9	41	147	5
新 潟	43	204	18	45	198	14	46	172	6	45	163	-14	43	157	12	42	151	7	40	145	3
水 戸	44	206	21	46	200	16	48	174	7	47	164	-13	45	158	12	44	152	8	42	146	4
宇 都 宮	44	206	20	46	199	16	47	173	6	46	163	-13	45	157	12	43	151	7	42	146	3
千 葉	45	206	21	47	200	16	48	173	6	47	163	-14	46	157	11	44	151	7	42	145	2
浦 和	45	206	20	47	199	16	48	173	6	47	163	-14	46	156	11	44	150	6	42	145	2
大 宮	45	206	20	47	199	16	48	173	6	47	163	-14	46	156	11	44	150	6	42	145	2
土 浦	45	206	21	46	200	16	48	174	7	47	164	-13	46	157	12	44	151	7	42	146	3
前 橋	45	204	19	46	198	15	47	172	5	46	162	-14	45	156	11	43	150	6	41	145	2
甲 府	46	204	19	47	198	14	48	171	4	47	161	-15	45	155	10	44	149	5	42	143	1
東 京	45	206	21	47	200	16	48	173	6	47	163	-14	46	156	11	44	150	6	42	145	2
横 浜	46	206	21	47	200	16	49	173	6	47	163	-14	46	156	11	44	150	6	43	145	2
厚 木	46	205	20	47	199	15	49	172	6	47	162	-15	46	156	10	44	150	6	42	144	2
長 野	45	203	18	46	197	13	47	170	4	46	161	-15	44	155	10	43	149	6	41	144	2
静 岡	47	204	20	48	198	14	49	170	4	48	160	-16	46	154	9	44	148	4	42	143	0
浜 松	47	203	19	48	197	14	49	169	3	48	159	-17	46	153	8	44	147	3	42	142	-1
富 山	45	201	17	46	195	12	47	169	3	45	159	-17	44	153	9	42	148	5	40	142	1
金 沢	46	201	16	47	194	11	47	168	2	45	158	-17	44	152	8	42	147	4	40	142	0
岐 阜	47	201	17	48	195	12	48	168	2	47	158	-18	45	152	7	43	146	3	41	141	-1
津	48	201	17	49	195	12	49	167	1	47	157	-19	46	151	7	44	145	2	41	140	-2
名 古 屋	47	202	18	48	195	12	48	168	2	47	158	-18	45	152	7	43	146	3	41	141	-1
豊 橋	47	203	18	48	196	13	49	169	3	47	159	-17	46	152	8	44	147	3	42	141	-1
福 井	46	200	16	47	194	11	47	167	1	46	157	-18	44	151	7	42	146	3	40	141	-1
大 津	47	200	16	48	194	11	48	166	1	47	156	-19	45	150	6	43	145	2	41	139	-2
京 都	47	200	16	48	193	11	48	166	0	47	156	-19	45	150	6	43	144	2	41	139	-2
奈 良	48	200	16	49	193	11	49	166	0	47	156	-20	45	150	6	43	144	1	41	139	-3
阪 神	48	200	16	49	193	11	49	165	0	47	156	-20	45	150	5	43	144	1	41	139	-3
堺	48	200	16	49	193	11	49	165	0	47	155	-20	45	149	5	43	144	1	41	139	-3
神 戸	48	199	16	49	192	10	49	165	0	47	155	-20	45	149	5	43	144	1	41	138	-3
姫 路	48	198	15	49	192	9	48	164	-1	46	154	-21	45	148	5	43	143	0	40	138	-3
和 歌 山	48	199	16	49	193	10	49	165	-1	47	155	-21	45	149	5	43	143	0	41	138	-4
鳥 取	47	197	14	48	191	9	47	163	-1	45	154	-21	44	148	5	42	143	1	39	138	-3
松 江	47	195	12	48	189	7	47	162	-3	45	152	-22	43	147	4	41	141	0	38	137	-4
岡 山	48	197	14	49	190	8	48	163	-2	46	153	-22	44	147	4	42	142	-1	40	137	-4
広 島	49	195	12	50	188	6	48	160	-4	46	151	-24	44	145	2	42	140	-2	39	135	-6
徳 島	49	198	15	50	192	10	49	164	-2	47	154	-21	45	148	4	43	142	0	41	137	-4
高 松	49	197	14	50	191	9	49	163	-2	47	153	-22	45	147	3	43	142	-1	40	137	-4
松 山	50	196	13	50	189	7	49	160	-4	47	151	-24	45	145	2	42	140	-2	40	135	-6
高 知	50	197	14	51	190	8	49	162	-3	47	152	-23	45	146	2	43	141	-2	41	136	-6
山 口	50	192	10	50	185	4	48	158	-6	45	149	-26	43	143	0	41	138	-4	38	133	-7
福 岡	50	191	10	51	184	4	48	156	-8	46	147	-27	43	142	-1	41	137	-5	38	132	-8
下 関	50	192	10	50	185	4	48	157	-7	46	148	-26	43	143	0	41	138	-4	38	133	-7
北 九 州	50	192	10	50	185	4	48	157	-7	46	148	-26	43	143	0	41	137	-4	38	133	-8
大 分	50	194	11	51	187	6	49	158	-6	47	149	-26	44	143	0	42	138	-4	39	133	-8
熊 本	51	192	10	52	185	4	49	156	-8	47	147	-27	44	142	-2	42	136	-5	39	132	-9
佐 賀	51	191	10	51	184	4	49	156	-8	46	147	-27	44	141	-2	41	136	-5	39	132	-9
長 崎	51	191	9	52	183	3	49	155	-9	46	146	-28	44	140	-2	41	135	-6	39	131	-10
宮 崎	52	194	12	53	186	5	50	157	-7	48	148	-27	46	142	-2	43	137	-6	40	132	-9
鹿 児 島	53	192	11	53	185	4	50	155	-9	48	146	-28	45	140	-3	43	135	-7	40	131	-10
那 覇	59	188	7	59	179	-1	54	146	-18	51	137	-38	48	132	-12	45	127	-16	41	123	-19

各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石で方位角を求めるときは、表示の角度に約6.5度加えてください。

(単位：度)

規格特性

アンテナ径 (cm)	受信周波数 (GHz)	利得 (dB)	耐風速 (m/s)	質量 (kg)
短径 120	12.2~12.75	41.7以上	60 注1)	17.5 注2)

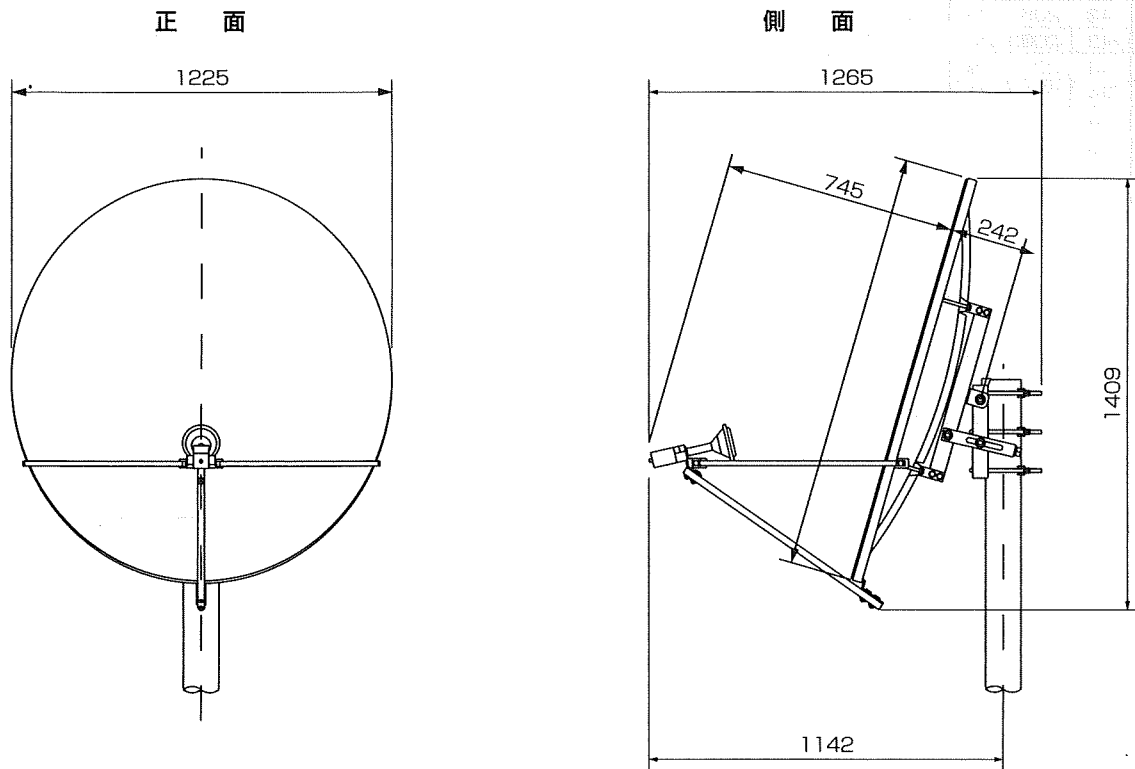
注1) 耐風速は破壊風速です。

2) 質量は給電部を含みません。

3) 給電部の品番は5ページをご覧ください。

仕様は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図



寸法はアンテナ仰角40°ポール径φ114.3mmの場合の最外形寸法です。

(単位：mm)

〈ご注意〉

通信衛星を利用したCATV向番組を受信し伝送するにはCATV事業者としての有線テレビジョン放送の行政手続きが必要です。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・埼玉営業所 TEL.(048)652-3311(代)	・岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)	・高松統括営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・サテライトオフィス宇都宮 TEL.(028)659-1100(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・サテライトオフィス盛岡 TEL.(019)636-1581(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・福岡営業所 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	・茨城営業所 TEL.(0298)26-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・千葉営業所 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪営業所 TEL.(06)6304-5651(代)	・大分営業所 TEL.(097)558-7235(代)
・東京ケーブル営業所 TEL.(03)3354-9812(代)	・横浜営業所 TEL.(045)651-2557(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・東京工事営業部 TEL.(03)3341-5281(代)	・静岡統括営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸営業所 TEL.(078)974-7100(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)
・東京電設営業所 TEL.(03)3633-1430(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	
・多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代)	・サテライトオフィス松本 TEL.(0263)27-7801(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	

(2002年6月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-0441(代)